

第 41 号

発行者  
青少年育成秋田市民会議  
事務局  
秋田市子ども未来センター内  
少年指導センター

〒010-8506  
秋田市東通仲町4番1号  
TEL 018-884-3869  
FAX 018-887-5335

# 青少年やどめ



子ども若者育成支援啓発活動  
「キャンペーンティッシュを配布」  
11月23日 イオン秋田中央店



会員研修会  
「楽しんで学ぶ防災」  
2月15日 センタース

地球温暖化は、猛暑・干ばつ・ハリケーン・豪雨・山火事などを引き起こしている。人類学者Dr. ブライアン・フェイガンは「氷河が溶け、深層海流が止まると気象が大きく変化し壊滅的な影響がある。」海洋学者Dr. ロバート・カゴシアンは、「氷期周期予測を過ぎている。地表が氷に覆われ、穀物が育たないほど寒くなる。暮らした方を根本から変えなくてはなりません。」と警告している。

「最後に戦争などしている暇はありません。人類の存亡が架かっているのです。」と語っている。(NHKBS1, GIGA MYSTERY)

Jicaピース・トーク・マラソン(2006東北支部主催へ出演)のテーマ「平和と一枚の写真」とAIA G.L.S 東南アジアを旅した高校生たちの発言を紹介したい。

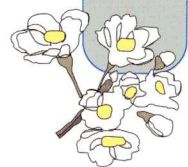
① 入国手続きにワイロがまかり通る。② カラチュウチの花の足元、この場合は「サンチャゴ



## 「平和と一枚の写真」

青少年育成秋田市民会議

会長 遠田 順夫



塞」。③ 総延長250km不屈の砦クチトンネルとダイオキシン被災。④ ポルポト政権下のソンカエ村の妻たちの体験談等々。

「平和とは？」難しいが私は「世界中の人々が笑顔であること」と答える。(ユカ他三名)

「写真」は、市場のおばちゃん(サオリ)、ホンバン大学(モエ)、英語教科書にあった同じもの(チカ)、孤児院オープンハウスの子どもたち(親の愛情を知らない子どもたちだが、一緒に遊んでいるときの笑顔に心を洗われた。)、まずは私たちがから笑顔になろう」と思った。(ユカ他一名)

みんな素晴らしい写真と発言内容でした。今、元気にしているだろうか、君たちと歩いたG.L.S 体験はずっと大事にして行きたい。

参考…AIA

(秋田県国際交流協会)  
G.L.S (グローバル・リーダーズ・スクール)

# わたしの主張 2022 秋田県大会



最優秀賞

仙北市立神代中学校

風も月も、人も同じ

たか だ なの は  
3年 高 田 菜 花

北投石。我が仙北市玉川温泉で採掘され、多くの人たちを癒やす力をもっている不思議な石です。採掘できる場所は、世界にたった二カ所。玉川温泉と台湾の北投温泉です。台湾との不思議な縁を感じます。

私は台湾の生徒たちとオンライン交流会をしました。お互いの国のクイズを出し合ったり、お菓子を贈り合ったり。その中で、台湾の美しい町並みや自然が私の目に飛び込んできました。私の心は躍りました。交流中、一緒に台湾の言葉を使う場面もありました。「ニイハオ」は「こんにちは」、「ハオチー」は、「おいしい」。

離れていることを感じさせない台湾の仲間達の笑顔。私たちとそっくりな顔立ち。心の距離がどんどん縮まっていきました。台湾に魅了された私は中国語に興味を持ち、ちよつとした会話を練習して、いつか旅行に行く日を夢に見ていました。そのためには、台湾の社会の状況、文化などをより深く学んでおく必要があります。私が楽しく学んでいた中国語はもちろん台湾でも通用しますが、「台湾華語」と呼ばれるものなど、台湾独自の言葉があることを知りました。「尊重彼此的文化、相遇。」お互いの文化を尊重しようという意味の中国語です。私は、この言葉を胸に刻みまし

た。きつといつか、使う日がくると思います。

ウクライナとロシアの戦争の新聞記事を読んでいたときのことです。私は大きな衝撃を受けました。東アジアで戦争の火種となり得るほど、中国と台湾の関係が非常に危険な状態だということです。冷や水を浴びせられたような気持ちになりました。

私は中国も大好きです。食べ物、音楽、言語。南京の中国らしい町並み。張家界の幻想的な風景。張家界はたくさんの岩の壁が立ち並び、映画の舞台にもなりました。

その国にしかない風景、自然の魅力、豊かな文化。これらの視点で国を見ると、戦争を起こそうなどと考えるほうが不思議です。

でも、今、世界から戦争は無くなっていません。その理由を探っていくと、こんな考え方に問題があるのではないかと思ひ始めました。それは、「違い」にばかり目を向けて、一面的な見方になってしまふということです。

遠い国の情報は、自分国と比較して違うところばかりが目につきます。それは、新鮮で魅力的な部分でもありません。でも、似ているところや通じ合うところを見つけてことも意識してみてもどうでしょう。例えば、私たちが台湾の生徒たちの笑顔のように。お菓子

が大好き。きれいな風景も大好き。いつかお互いの国に行つてみたいと思う気持ち。似ているところはたくさんあります。

コロナウイルスの影響でマスクや手袋が不足していた中国へ日本から物資が送られました。そこに、ある漢詩の一節が添えられていました。「山川、域を異にすれども、風月、天を同じゅうす。」

これは、「国土は異なるうとも風も月も同じ天の下でつながっている。」という意味です。この詩が中国の方々の心を打つたことに胸のすく思いでした。それと同時に「そうか、どの国の人も、風に吹かれ、月を仰ぐ同じ人間なんだ。国は関係なく、同じ人間同士助け合えばそれでいいんだな。」という当たり前すぎる事実が気づかされました。

戦争が起きる原因は、一つではありません。戦争をなくすことは難しいかもしれません。でも、同じ人間です。美しい自然や文化を愛する人間のはずなのです。「違い」だけに目を向けてはいけません。お互いの国の似ているところや共通点を見出そうと努力すること。そうすれば、お互いの文化や国、人々を尊重する気持ちが育まれていくと思うのです。「尊重彼此的文化、相遇。」それが今、私たちにできることなのです。

# わたしの主張 2022 秋田県大会



優秀賞

由利本荘市立西目中学校

## 「個性」として

あさ おか おと え  
3年 朝 岡 音 衣

私は吃音をもっていきます。皆さんは、吃音の原因が何か分かりますか？昔から「愛情不足」「本人が緊張しすぎている」など人為的要因と言われてきました。今も医学的な要因は分かっています。三つの捉え方ができるそうです。一つ目は吃音症という「病气」、二つ目は言語性の「発達障害」、三つ目は「個性」。

私自身はまだ、吃音を「個性」として受け入れられていません。ですが、私が理想とするのは、吃音を「個性」として受け入れられる社会です。

私が吃音を「個性」として受け入れられない理由は大きく二つあります。一つ目は、吃音により、自分自身が苦労するからです。音読をしているとき。発表するとき、友達と話しているとき。吃音はどこでも出てきます。そうすると、時間がかかったり、言いたいことが伝わらなかつたりして、ストレスを感じます。大勢の前で話すことも本来好きですが、吃音によりだんだん避けるようになっていきました。

もう一つの理由は、周りの目です。幼稚園の頃から笑われることは何回もありました。

それがしかたがないこともわかっていきます。話し方が違うので、違和感を覚えるのだと思います。それでも知らない人から笑われ

れたり、変な顔をされたりすると、傷つきます。

しかし、それ以上に十年近く一緒にいる同級生から笑われると傷つくし、「自分の話し方が悪いのかな」という不安に襲われます。また、複数人に「音衣って吃音なんじゃない？」と笑いながら言われたこともありました。「うん。」と言ってしまえばいいだけです。その表情を見て嫌な緊張を覚え、心臓がやけにうるさかったことを覚えています。今でもそのときは私の心の傷になっています。

これが、私が吃音を受け入れられない一番大きな理由です。無意識のうちに「吃音は悪いこと」と思ってしまったのかもしれない。一方で、私を支えてくれる人たちもいます。

今、私はもう一度人前に立つてみようと思ひ、生徒会長に立候補し、当選してその役を務めています。入学式で、私は在校生代表で歓迎の言葉を述べました。その日の放課後の生徒会活動のとき、みんなが上手だったと言ってくれてとてもうれしかったです。また、「人前で話す度にうまくなっている」と言ってくれた人もいて、とても自信ができました。

私の親友は以前、「吃音をもっていることがおかしいのではない

く、それを笑うことの方がおかしい。」と励ましてくれたことがあります。この言葉は励みになっています。その友達には何回も相談したり、発表の原稿を聞いてもらったりして、とても感謝している存在です。

そして私の学年にはもう一人、吃音の人がいます。悩みを共有することもあり、分かり合えることが多いです。昨年度の生徒会の先輩にも、吃音をもついても活躍していた人がいて「自分だけじゃない」と思えることの安心感は、とても大きいものでありました。

吃音をもつていると嫌なこともあります。私を認めて、支えてくれる人もいます。

このように応援してくれる人や支えてくれる人が多い社会は人との違いを受け入れられる社会だと思います。

私のように吃音をもつ全ての人、そして、他の人との違いに悩む人が、「個性」として受け入れられること。そして他者との違いを引け目を感じず、堂々と顔を上げて、多様な人が活躍できる社会を実現していくことが、私の願いです。そのために私は、自分の「個性」も相手の「個性」も受け入れ、大切にして生きていきます。

# わたしの主張 2022 秋田県大会



優良賞

これからの情報社会を  
生きるために

秋田市立土崎中学校

こやま じ えい  
3年 小山 慈 英

最近、テレビや新聞で、インターネット上の犯罪や嫌がらせ等についてのニュースをよく目にする。それをみてはいつも、なぜこのようなことが無くならないのだろう、どうすれば無くすることができの难道うと考える。今回、それを自分なりに深く考えるべく、情報の伝達の歴史にヒントを求めてみたいと思う。

まず、人類が狩猟・採集をしてきたころは、他の人を同一の場所に集合させる術として、狼煙を合図として使っていた。この伝達の方法は単純で、煙を用いていたため、天候等の条件によっては、全員に情報が伝わらないこともあったと思われる。

そこから時代が進むと、文字というものが誕生する。このことにより、狼煙のようにすぐ消えず、情報が長く保存できるようになった。文字の誕生は人類にとって大きな進歩の礎になっただろう。

その文字は、世界中で使われるようになり、またそれに伴って、活版印刷術などの、印刷するという技術が産まれた。それはさらに発展していき、書物や新聞が発行されるようになった。ここまでくると、狼煙と比べてはるかに複雑かつ大量の情報を伝えることができる。また、交通手段の発達も

顕著で、人々はより遠方まで旅することができるようになった。これにより、情報伝達の速度にも大きな変化が起きたのではないだろうか。

しかし、そういった歴史的な背景において、情報伝達に関する悪い側面を象徴する事例がある。関東大震災での出来事である。当時、関東では、被害の大きさをゆえ、大混乱していた。その中で次のような情報が流れ始めた。

「朝鮮人が井戸に毒を混入した」いわゆる「デマ」である。だが、これを多くの人々が信じてしまい、朝鮮人や共産主義者たちが殺害されることとなってしまった。

ここまでの歴史を見ると、時代が進むにつれ、大量に、詳細に情報を広く伝えられるようになったことがわかる。ただその反面、噂やデマといったものも伝わりやすくなっているのだと思う。

そして、近年はインターネットの登場によって、より危険度が増している。誰もが簡単に使えるために、子供の利用も増加しているし、ネット上での誹謗・中傷や詐欺、差別も多発している。それどころか、今後はWeb3.0と呼ばれる次世代のインターネットが登場したり、メタバースという仮想空間

間で人々が一日の多くを過ごすようになったりするともいわれている。

僕がこのような時代を生き抜くために必要だと思うことは三つだ。まず、これまで人類が歩んできた歴史を振り返り、そこから現代社会がどうあるべきかを考えることだ。温故知新という言葉があるように、歴史の中には、現代社会に活かせる数多くのヒントが凝縮されている。そこから改善策を考えることができると思う。次に、安心・安全なインターネット環境を構築できるよう、一人一人の意識向上だ。全員が今よりも少しずつモラルやマナー、情報リテラシーを高めることで、いずれば世界全体のインターネットが今よりも平和なものになるはずだ。最後に、見通す力と対応力を磨くこと。先の時代がどうなるのか、といった情報にアンテナを高く伸ばす。それが到来したときに素早く対応する。新技術の普及には戸惑いやトラブルは付き物である。そうならぬよう、備えておくことが必要だと考える。

この三つに自分自身が取り組み、時にはそれを周知・共有しながら、来る情報化社会をよりよく生き抜いていきたい。

# 表彰受賞者感想

## 優良少年団体表彰を受けて

秋田市立下北手小学校

校長 伊藤 弘幸

「下北手子ども梵天会」発足から二十年。長きにわたり、地域や保護者と共に三吉神社梵天祭に尽力し、伝統を継承してきたということで表彰していただきました。

コロナ禍により二年間中止でしたが、今年こそ小・中合同で梵天祭に参加し地域に子どもたちの声を響かせたいと思っていたところ、秋田市民会議のご支援により三年振りに参加することができました。

当日の朝、厳かな雰囲気の中での出陣式、梵天歌と梵天披露。三吉神社での梵天奉納では、子どもたちの背筋が伸び、堂々と階段を上る姿が凛々しく見えました。この体験は、下北手の子どもたちの心に確実に刻み込まれました。子どもたちが大人になったときに、この体験のことやふるさと下北手のよさを多くの人に語ってほしいと願っています。

## 「ガールスカウト」

ガールスカウト秋田県1団

団委員長 近藤 静子

ガールスカウトは少女や若い女性のための世界最大の団体です。現在百五十二の国や地域に一千万人の会員がおります。ガールスカウト日本連盟は二〇二〇年に百周年を迎え、秋田県第一団は六十年になります。このたびの表彰大変ありがとうございます。

ガールスカウトが大切にしていくことは、

自己開発……興味を持ったことに挑戦し、自分で考えて実行する力を身につけること。

人との交わり……人との交流を通じてお互いを尊重することを学ぶこと。

自然と共に……野外活動の中で命や自然の大切さを身近に感じることで

コロナ禍で制限の多い中、工夫を重ね活動を続けてきました。日本の未来を担う少女たちが「力」をつけてくれることを願っております。

## 青少年育成成功者 表彰に感謝して

青少年育成秋田市民会議

副会長 岩谷 文子

民生児童委員、秋田市少年指導委員10年を経て平成16年から青少年育成秋田市民会議の会員として様々な活動に参加させていただいております。

今年度の活動はコロナ禍の中で、制約がありながらも、ほぼ予定通りに開催され、久々に中学生の生の発表を聞くことが出来たり、マスク越しであってもキャンペーンの声かけをすることが出来、やはりフェーストゥフェースの大切さとありがたさを改めて実感しました。

「他人の子ども みんなわが子の思いやり」の精神で、私たちの活動がいつでもどこでも、当たり前出来るものではないことを肝に銘じながら、複雑化・多様化する社会の中で諸先輩からの学びを若い人たちに伝えるべく、もう少し活動を続けて行きたいと思っております。



今回の広告掲載につきましては、地域の皆様から、たくさんのご協力ありがとうございました。心から感謝申し上げます。

臨濟宗妙心寺派  
日徳山 昌東院

住職 辻 匡人  
(Masato Tsuji)

010-0132 秋田市上新庄小又字行人沢2  
TEL : 018-870-2525  
FAX : 018-870-2565  
携帯電話 : 090-3125-3746  
Shotouin@theia.ocn.ne.jp



在宅介護

やさしい手

～やさしい手届けたい～

ケアプラン作成 ホームヘルプサービス

やさしい手秋田 市立病院西口バス停向い  
TEL 864-1113

ホームヘルパー募集中! <http://www.8341te.com>



# 青少年育成 秋田市民会議研修会

## 「会員研修会」に参加して

雄和地区 菊地 義寿

2月15日(水) センタースで会員研修会が行われ、参加させて頂きました。

研修「楽しく学ぶ防災」講師は、秋田県生涯学習センター副主幹(兼)学習事業班長 柏木 睦さん他職員3名による研修会でした。

災害はいつくるか、分からないが、前の3月11日の東北で起きた地震は、まだ心に残っています。その日は停電で自宅はロウソクの明かりで過ごしました。

夕食は、ビールの空き缶2個で、ロウソクを利用してご飯を炊いたこと思い出しました。その後全国で、地震・台風・洪水被害が起きています。

私も自宅に防災グッズを購入して、少し100円ショップで追加して、すぐ使える場所に置いて、家族にも確認してもらっています。

研修会のワークショップ「語り合うことも防災」「水のできるカップ焼きそば」「新聞紙で防災」体験は、とても身になりました。日常の中で防災に役立つ行動や、自宅・車に備えておきたいです。



←ワークショップ  
「水のできる?  
カップ焼きそば」↓



←水を入れて35分後、  
実際に食べてみました。



←ワークショップ  
「新聞紙で防災」  
脱げにくい  
スリッパを  
つくりました。↓



↑ワークショップ  
「語り合うことも  
防災」  
3月11日  
何をしていましたか?

### ◇JR秋田駅周辺 クリーンアップ活動報告◇

一回目 令和4年7月23日(土)

12名参加

二回目 令和4年10月1日(土)

15名参加



令和4年7月23日  
JR秋田駅前クリーンアップ  
活動 12名参加

### ◇お知らせ◇

●令和4年度新入会員紹介(敬称略)

荻原 貴幸

鈴木 田鶴子

●令和5年度総会開催について

令和5年5月13日(土)

午後3時~4時 協働大町ビル

総会后、情報交換会を予定しております。

参加料 四、五〇〇円

### 謝意(赤い羽根共同募金)

この会報は、秋田市赤い羽根共同募金会からの補助の一部で発行しております。たくさんのご協力に心から感謝申し上げます。

## 『地域のおじさん、おばさん運動』

### ただいま、会員募集しております

私たちは、次代を担う「秋田の子どもたち」の健全育成を図るために、子どもたちにとって、一番身近な地域の市民の一人一人が参加して「地域の子どもは、地域で守り育てる」活動を展開しております。

また、「地域のおじさん、おばさん運動」もあわせて展開しております。

～さあ、はじめよう。できることから。あなたから～

青少年に関心のあります市民の皆さま、ぜひ「この運動」をご理解いただきご入会くださいますようお願い申し上げます。



お問い合わせ：事務局 秋田子ども未来センター内 少年指導センター  
〒010-8506 秋田拠点センター アルヴェ5F  
TEL 018-884-3869 FAX 018-887-5335

青少年育成秋田市民会議  
会長 遠田 順夫

### 編集後記

コロナ対策が緩和され、行事や集まりが幾分行いやすくなりました。久しぶりに顔を合わせるとホットします。どうぞお元気で活躍を!